

# 4 麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト

【令和5年度予算概算要求額 100（100）百万円】

## <対策のポイント>

麦・大豆の需要を捉えた生産の推進により国産シェアを拡大するため、作付けの団地化やブロックローテーション、営農技術の導入、農業支援サービスの活用等による産地の生産体制の強化を支援します。併せて、作柄変動の大きい国産麦・大豆の供給を安定させるため、民間保管施設の整備や一時保管により安定供給体制を確立します。

## <事業目標> [平成30年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加（76万t→108万t）
- 大豆生産量の増加（21万t→34万t）
- 大麦・はだか麦生産量の増加（17万t→23万t）

## <事業の内容>

### 1. 生産体制強化

#### 麦・大豆産地生産性向上事業

作付けの団地化・ブロックローテーションの推進と営農技術の新規導入と併せて農業支援サービス等も活用した省力化の推進により、生産性の向上や環境に配慮した営農に向けて、技術の新規導入を図る先進的な麦・大豆産地の取組に対し、ソフト・ハード両面から支援します。

### 2. 需要に応える供給の実現と国産の利用拡大

#### ① 麦・大豆保管施設整備事業

国産麦・大豆の安定供給に向けた保管施設の整備や、保管施設の整備と一体的に行う処理加工施設及び乾燥調製施設の整備を支援します。

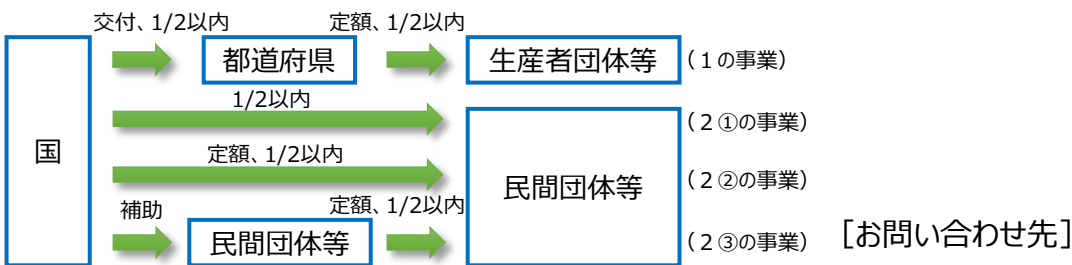
#### ② 麦類供給円滑化推進事業

国産麦の供給を円滑化するための一時保管を通じた安定供給体制の構築を支援します。

#### ③ 麦・大豆利用拡大推進事業

国産麦・大豆の利用拡大に向け、商品開発、マッチング等を支援します。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 1. 生産体制強化

作付けの団地化推進



作付けの団地化推進に向けた話し合い等の必要経費を支援（定額）

営農技術の導入・畑地化実証支援



営農技術の導入や畑地化に向けた栽培実証を支援（定額）

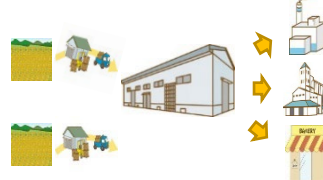
施設整備・機械導入



生産性向上に必要な施設・機械導入等を支援（1/2以内）

### 2. 需要に応える供給の実現と国産の利用拡大

安定供給



保管施設の整備に向けた支援（1/2以内）

利用拡大



国産麦・大豆の商品開発等を支援（定額、1/2以内）

(1、2①③（大豆）の事業) 農産局穀物課 (03-6744-2108)  
(2②③（麦）の事業) 貿易業務課 (03-6744-9531)